

「安心・活力・発展プラン2005」 第4回発展部会 委員発言要旨

日時：平成27年2月9日(月)10:00～12:00

場所：トキハ開館5階「カトレアの間」

No.	項目	発言要旨
1	教育	子供の力・意欲を伸ばすには基礎、基本が大事。思考・表現には言葉が必要であるため、読書を推進し、物事を受け入れる器を子供たちにつくることが重要。
2		グローバル人材の育成については、表現力も大事だが、自分がどこに立っているか、日本の、大分にいるということをイメージできるような学習が必要。
3		県教育委員会と市町村教育委員会で思惑にズレがあるように感じるため、もう一段の強い連携をお願いしたい。
4		主な取り組みにおいて類似した表現があってわかりにくいいため、書き分ける必要があるのではないか(例:P1①1ポツ目とP2④3ポツ目、P4①3ポツ目とP4②2ポツ目)。
5		学校図書と公立図書館の連携、学校司書と公立図書館司書の連携など、図書館同士のつながりを強めていくことが必要。
6		社会教育を担う人材育成により、福祉と教育等が連携しながら地域を中心とした団体を再生してほしい。地域にはライフステージ毎に様々な団体が存在し、それを通して学ぶことができるような環境があるといい。
7		子育て世代の地域への参画を進めるため、生涯と通じた学習の支援の取り組みの中にPTA活動を含めていただきたい。
8		地域の人達が教育に興味がなくなっていることが問題であり、その根源は保育所、幼稚園にあるような気がする。
9		学校・家庭・地域の連携した取り組みを進めるため、地域の自治会と学校・家庭との関わりを強めることが重要になると思う。
10		地域と子供を巻き込んでいくような情報発信が必要。そのことで、地域の高齢者と子供を結び若いお母さんも参加する等地道だが効果がでており、若い家族の定住にもつながっていると感じている。
11		PTA活動は学校と地域を結んでおり、PTAというツールをしっかりと使って情報発信してもらいたい。
12		実業高校卒業者や事情により進学しない者等に向けて、就職支援の体制づくり等取り組みの充実が必要ではないか。

No.	項目	発言要旨
13	教育	アクティブラーニング・ディープラーニングが大学に求められている中、課題設定が重要なるため、地域課題の解決など地域の方々と一緒に活動できるような取り組みを、今後一層充実してほしい。
14	青少年の健全育成	中高生のインターネット閲覧規制は難しいが、犯罪予防等に向けてどのように情報を取捨選択していくかの検討が必要であり、新しい取り組みの検討をお願いしたい。
15	芸術文化	芸術に関心のない子どもの関心を喚起させるため、知る人ぞ知るような作品ではなくて、誰もが知っている作品を見せる機会を提供してほしい。
16		政策2の(1)が県の仕事で(2)が財団の仕事と見える表現や、芸術文化ゾーンが上で様々な団体が下というような表現は検討したほうがいいと思う。
17		芸術文化に触れる機会として参加・体験型のワークショップが重要だと認識できるよう、記述を工夫していただきたい。
18		国東半島芸術祭の作品が残った地区において、どのような活用方法があるか地域の芸術家達と議論しており、県立美術館等と連携し今後も芸術祭を生かした取り組みを行っていきたい。
19		マスコミを活用した情報発信を含め、国東、大分、竹田などに在住する芸術家、ユニークな発想をしている人のネットワークづくりを強化してほしい。
20		iichikoグランシアタにおけるアジア彫刻展の作品展示等、ネットワークを生かして、質の高い作品を間近で見ることができる機会を増やしてほしい。
21	スポーツ	トリニータをはじめとするプロスポーツチームは大分の宝であり、子どもの夢の実現にもつながるため、しっかりとした支援・育成をお願いしたい。
22	交通政策	広域公共交通ネットワークの充実の取り組みは輸送手段別に並んでいるが、優先順位の高いものから順に並べた方がいいと思う。
23	地域交通	施策の喫緊度を考慮すると、「ネットワーク・コミュニティの形成を支える道づくりの推進」より「生活交通の確保・維持」を先に記述すべきではないか。
24		交通政策基本法では多様な移動手段の確保等について地域住民も協力義務が課せられているため、主な取り組みの1つに「地域住民による取り組みへの支援」を記述した方がいいのではないか。
25		中心市街地循環バスについて、大分市では既に運行しており、新たな計画として記述するのは疑問がある。

No.	項目	発言要旨
26	地域交通	パーク&ライドやエコ通勤割引を拡充して実施するのであれば、今の取組内容をしっかりと検証することが必要。
27	情報通信	通信インフラを整備するだけでなく、その機能を使える人材を増やす等利活用する仕組みと一体的に取り組んでいくことが重要。
28		情報インフラについては、災害などの緊急時にも情報提供できるよう、無線通信網の整備が重要。
29		情報提供の場面において、今後は情報を持っている人が主体的に与えていくプッシュ型通信が必要となり、取り組みの充実をお願いしたい。
30	交通安全	自転車事故が深刻化し、若くして高額な賠償を一生背負うことになるケースもあるため、保険制度の周知と支援をお願いしたい。